



2011・夏号

広報

<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

高知大学を10倍楽しむフリーペーパー

見て、来て、
知って
高知大学

Take Free
持って帰ってよ～!



高知大学

大震災・高知大学ができること

岡村教授紙面講座

特集

「南海地震に備える」 東日本大震災レポート

後悔しないために、
きちんと学び、準備しよう。



「Change the 高知大学」
高知大学同窓会からの
メッセージ

Congratulations 若手研究者必見!

笹川科学研究奨励賞受賞

「ソコダラ属の分類学的研究」

高知大学研究活動



今年も魅せます! 大学生パワー

2011よさこい祭「学生チーム」PR

ピックアップサークル



高知大学国際・地域連携センター
地域コーディネーターの仕事



医学部剣道部

アーチェリー部

Hand to hand

アジア・僻地医療を
支援する会

子どもたちの音楽会
どれみふあらんど
開催レポート



震災対策 高知大学ができること

東日本大震災支援レポート／南海地震対策

平成23年3月11日、三陸沖を震源とする国内観測史上最大規模の「東北地方太平洋沖地震」が発生し、東日本の太平洋に面した広範囲な地域が甚大な被害を受けました。この災害により、お亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表し、不自由な避難生活をされている皆様に衷心よりお見舞い申し上げます。

高知大学は一丸となって、できる限りの支援をしております。また、今回は高知大学理学部岡村眞教授より、東日本大震災の現地報告を踏まえ、南海地震対策についてお話をさせていただきます。

七が浜町の瓦礫
安川町高台の学校は無事

本気で考えよう！ 南海地震

「地震対策の順番」

地震には「揺れ」、「斜面災害」、「地盤沈降」、「津波」、「孤立化」、「火災」などの被害があります。平成16年に発表されている次の南海地震の被害は死者数96000人うち約6000人は津波が原因と予想されています（寝ている人の多い早朝の場合）。

今回の東日本大震災では、死者行方不明者数約2万4000人、そのうち、けが人は約4800人と発表がありました。一方、阪神淡路大震災では死者数約6000人にに対してけが人は約4万8000人でした。

これ何を示しているか？ 今回のような津波が発生する地震の場合は、怪我が原因で逃げ遅れてしまう人が多いということです。怪我が多くは、裸足でガラス破片の上を歩き、歩けなくなるケースが6割を占めていました。その結果、逃げ遅れてしまい命を落とすことにつながっています。ですから必ず寝室などには靴を置いておかなければいけません。

またドアが開かずに逃げ遅れるというケースもあります。誰かが下敷きになっているかもしれない。その時に活躍するのが、バールです。ゆがんだ扉をこじ開けたり、瓦れきをテコの原理で持ち上げて下敷きになっている人を救出するために、バールが必要になってきます。阪神淡路大震災ではバールで助けられた方がたくさんいました。一家に一本以上、バールを準備しておきましょう。

私の家には、いろいろな場所に置いてあります。



●次の南海地震で予想される建物倒壊と人的被害（寝ている人の多い「早朝」の時間帯の場合）（第2次高知県地震対策基礎調査H16.3）

	計	うち「揺れ」	うち「津波」	うち「がけ崩れ」	うち「火災」	うち「液状化」
全壊棟数 (単位：棟) ※半壊、一部損壊を除く	約81,600 県内木造・非木造建物 約53万棟の15.4%	約31,200	約35,700	約9,900	約2,700	約2,100
死者数・ 負傷者数 (単位：人)	計 約20,390 県人口約81万人 (H12国調)の2.5%	うち「死者数」 約9,630	うち「負傷者数」 約10,760	建物倒壊 約1,800 津波 約7,000 がけ崩れ 約680 火災 約150	建物倒壊 約9,340 津波 約850 火災 約570	

●大地震被害者数比較図

	死者・行方不明	ケガ
H23 東日本大震災	2万4000人	4800人
H13 阪神・淡路 大震災	6000人	4万8000人

高知大学の震災支援レポート

医療支援

高知大学医学部は、3/11～4/29まで、医師やコメディカル(医療従事者)で構成する医療支援チーム(3～5名)を継続的に第10班まで、総勢240余名を派遣しました。そのほか、精神科医師や法医学医師の派遣要請にも応えております。また、この経験を通して、南海地震への対策の強化などにも努めています。



DMAT (災害派遣医療チーム) 派遣

高知大学医学部DMAT(医師など5名)は、震災発生翌日に福島県入りし、福島空港で活動を行ないました。

高知大学 防災すけっと隊 などの募金活動

高知県内で防災授業を推進する学生自主活動団体「防災すけっと隊」は、震災後県内各地で義援金活動を展開しました。集まった340万8,850円は、被災地へ寄付いたしました。ご協力ありがとうございました。



学生のボランティア 活動支援

高知大学では、被災地への学生のボランティア活動を支援しています。申請書を提出した学生の授業は特別欠席扱いにするなどの対応をしています。また、被災された学生や大学院生などの受け入れなども実施しています。



まずは、バールと靴を準備しておきましょう！

↑男性は90センチ。女性は70センチが目安です。↓

岡村 眞 Makoto Okamura

理学部教授(理学部応用理学科災害科学)

- 専門分野
地震地質学・海底活断層の研究、地震長期予測の研究
- 主な研究テーマ
海底活断層の完新世活動履歴の研究
沿岸湖沼の津波堆積物の研究
高品位コア採取技術による完新世環境復元



高知県から各地に配布された「南海地震に備えよう」の冊子。1度読んでおくことで、いざという時に役に立ちます。



写真1：五台山から見た昭和南海地震直後の高知市街と現在の市街。地震後には地盤の沈降によって市内の広い地域が水没しているのがわかります(地震直後の写真は高知市防災対策課提供)

では、南海地震が起こった時の時間経過を覚えておきましょう。

防災対策

「まずはコレから準備！」

その1 地震から逃げる時に必要なものを揃える

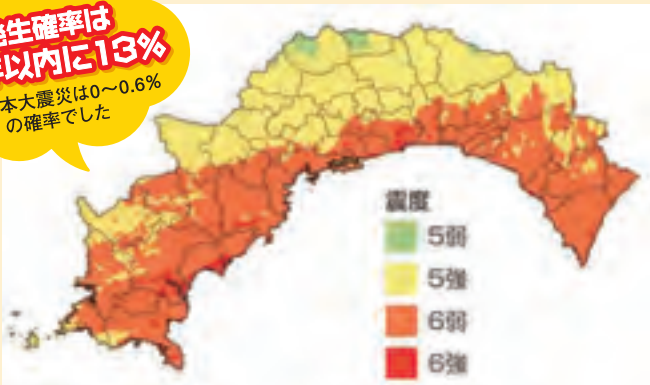
- 1 靴 バール
- 2 ヘルメット、メガネ、補聴器、服用中の薬
- 3 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池
- 4 現金(小銭)、貴重品など



「逃げる時に必要なもの」と「避難生活の備蓄品」は違います。よく食料のみ備蓄している人がいますが、それは生き残った場合に必要で物です。たしかに食料品などが必要ですが順番が逆ですね。日本の地震被害で、食べられなくて死亡した例はありません。

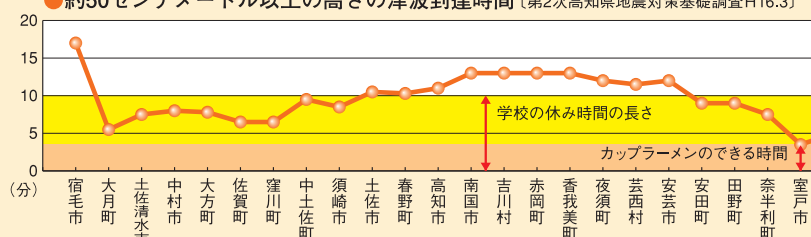
まずは逃げる時に必要なものを揃えよう！

●予想される震度分布(第2次高知県地震対策基礎調査H16.3)

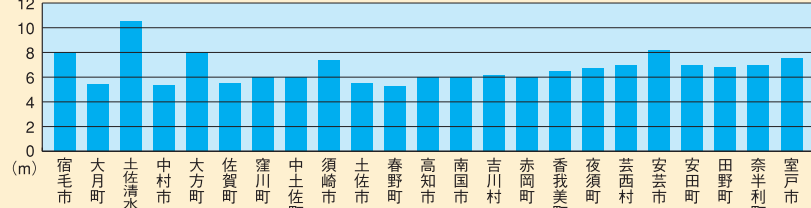


発生確率は15年以内に13%
★東日本大震災は0～0.6%の確率でした

●約50センチメートル以上の高さの津波到達時間(第2次高知県地震対策基礎調査H16.3)



●津波の高さ(第2次高知県地震対策基礎調査H16.3)



研究成果、研究努力、研究資質に高評価！ 笹川科学研究 奨励賞受賞

ソコダラ科ニホンソコダラ属の
分類学的研究

「笹川科学研究助成」は、他から助成が受けたい若手研究の促進を目的としており、平成22年度は全国より1162件の申請があり、そのうち助成を受けたのは334件です。中山さんはささ川の中からは研究領域別に数名に送られる笹川科学研究奨励賞を受賞されました。受賞した内容は、ニホンソコダラという深海魚の分類研究。この魚は、世界中の海底1千〜4千mに生息し、採集することが難しく、標本数が限られおり、分類的に未整理でした。中山さんは、欧米6カ国、8つの研究機関を訪れ、調査可能なほぼ全ての標本計1377個体を調べ、最新の手法マイクロCTスキャンなどにも挑戦し、精力的かつ質の高い研究が評価されました。

ソコダラの標本を前に、その魅力について語る中山さん。



高知大学大学院
総合人間自然科学研究科
中山 直英
(長野県出身)



中山さんが世界中の研究所で調査した標本。20世紀初頭に採集された貴重なものも含まれる。



中山さんのプレゼン資料から抜粋。ソコダラの標本例です。

小さな頃から魚が大好きだった中山さん。高校生の時、JAMSTECの研究施設を見学し、そこで深海魚の研究なら高知大学が東京大学と言われ、基礎的な分類学が学べる高知大学へ。今年は、発見した新種ニホンソコダラなどの発表の年。「どんな名前をつけて発表していきます」と、目を輝かせて語ってくれました。

ソコダラ追って、世界の果てまで。



高知大学
同窓会連合会会長（南渾会会長）
西川 博行さん
(昭和44年卒業・高知県出身)

Q1 高知大学卒業後の
お仕事について教えてください。

A1 高知市役所で約38年間勤務しました。初めての仕事はケイスワーカー、その後、人事課、財政課、秘書課などへ在籍し、横山市長の秘書も勤めました。その時、市長の「市民の心を心とすること」を考えに感銘を受けた。それが公務員としての信条になりました。特に思い出に残っているのは、「市制100周年記念事業推進室」に配属された2年間でしょうか。「7河川一斉清掃」「自由民権記念館」などが100周年のメモリアル事業。施設として、現在に引き継がれております。またこの時に民間の委員で101人委員会が組織されました。現在でも、行政と市民が力を合わせて行なう事業が多くありますが、この時の「官民共同で事業を考え、ともに実施する」という手法が原型となっていると思います。現在は、市役所を退職し高知市学校給食会に勤める傍ら、高知大学同窓会連合会会長職を任されています。

Q2 では高知大学同窓会連合会について教えてください。

A2 高知大学の同窓会は①教育学部「如果会」、②医学部「日章会」、③農学部「日章会」、④文学部「理理学部」人文部「南渾会」の四つの同窓会があります。平成16年の高知大学の法人化に際し「同窓会連合会を組織しよう」ということになりました。微力であっても母校を応援したい思いは溢れるほどです。

Q3 連合会ではいろいろな支援をしているそうですね。

A3 昨年、第一回目のホームカミングデーを大学と共催。また現役学生への表彰など、いろいろな形の支援策も検討しています。

Q4 最後に大学と大学生へのメッセージをお願いします。

A4 今、大学を取り巻く環境は大変厳しいです。しかし現役生が、積極的に地域に入り込み活躍されている様子を拝見し大変心強く思っています。現役生の活躍こそが高知大学の存在意義を高めます。同窓会として今後とも惜しみない支援をしていきたいと考えています。

OBより一言

チェンジサ高知大学



高知大学
同窓会連合会副会長（日章会会長）
山本 由徳さん
(昭和47年卒業・和歌山県出身)

Q1 高知大学卒業後の
お仕事について教えてください。

A1 私は、母校である高知大農学部で教授をしており、専門は作物学、熱帯有用植物学。具体的には水稲の多収性に関する研究、また東南アジアにあるサゴヤシという植物の研究をしています。このヤシは一本の幹に大量のデンプンを蓄積することが特徴で、食用だけでなくバイオエタノールなど工業利用としても注目される植物です。そのほかウコン、食用カンナなど熱帯性植物の解明と栽培、高バイオマス生産技術の開発などの研究をしています。

Q2 OBとして現役生へのメッセージをお願いします。

A2 今の学生は、自分の限界を自分で決める方が多いですね。私も東南アジアに行きたいという思いを持ち続けていたら、様々な縁により達成できました。夢を持ち続け、研究のおもしろさを知って卒業してもらいたいですね。

Q3 OBの方へのメッセージをお願いします。

A3 学生は、社会人の方と触れ合うこと自体が勉強になります。社会人入学で入った方から学べる研究や、学生だけの研究室では学べないような視点も異なっているように思います。もう一度大学で勉強しませんか。きっとお互いに良い刺激になると思います。ホームカミングデーにもお越し下さい。お待ちしております。

2011よさこい祭り参加！

高知よりひさびさで日本をアツク
元気な声！ぜひ見に来てほしい！

Q1 チームの特徴、練習日程
Q2 今年のテーマ
Q3 衣装、地方車、囃子、音楽でこだわったところ
Q4 ずばり！よさこいとは？
Q5 アピールコメント

**第2回
どれみふあらんど
～子どもたちの音楽会～
を開催しました！**

5月28日
高知大学教育学部音楽棟
主催 高知大学教育学部

小学生を対象に、教育学部学生・教育学専攻大学院生による「料理づくり」をテーマにした音楽会を開催しました。歌やダンス、スペインやハンガリー音楽、吹奏楽団の演奏など、盛り沢山の内容で、楽しく賑やかなひと時を過ごしました。

炎 ～ほむら～

●代表者／森達太郎
●一般募集なし（学生ならオッケー）
●参加費／22,000円 ●出場回数／11回目

- Q1 女性中心の一人一人が激しく思いっきり踊れるチームです。毎日練習しています！
- Q2 宴（えん）
- Q3 それぞれがテーマのイメージを大事にしました。いろんな「えん」が合わさること新しい見え方になります。
- Q4 大迫力の音と熱気と、囃子の音、ご覧になる皆さんの視線に包まれて踊り続ける数日間。踊ってみたいとわからない、一度では味わい尽くせない楽しさがあります。
- Q5 今年も元気いっぱい、あつさに負けず楽しんで踊ります！応援宜しくお願いします！

**日章
踊り子隊**

南溟寮

醫（くすし）

●代表者／加藤 万南 ●一般募集あり
●参加費／学生12,000円・学外15,000円
●出場回数／32回目

青ノ春

●代表者／西岡 奈帆子
●一般募集あり（18歳以上）
●参加費／25,000円 ●出場回数／6回目

**学生よさこいチーム
粋恋 ～すいれん～**

●代表者／川田 敬介
●一般募集あり（大学生以上）
●参加費／20,000円 ●出場回数／9回目

**よさこいチーム
南風 ～ばいかじ～**

●代表者／鳥野 敬介 ●一般募集あり（大学生以上）
●参加費／20,000円 ●出場回数／9回目

- Q1 沖縄の伝統芸であるエイサーを取り入れたチームです。大学生がほとんどですが、小中学生や社会人の方もいます。雨天時以外は毎日18時頃から練習します。
- Q2 テーマは「大空（うぶすら）」です。空のように大きくのびのびと、みんなで楽しく踊ろうというテーマにしました。
- Q3 衣装に沖縄のびんがたしを使用し、沖縄っぽさを出しました。また、太鼓と手踊りで、衣装が違っていることにも注目してください。音楽にも沖縄の曲を取り入れてみました。
- Q4 個性豊かな人たちが一つの目標に向かって協力できる、一つになれる、大切な高知の宝物です。
- Q5 踊りが好き！沖縄が好き！よさこいが好き！そんな人たちが集まっている個性の爆発したチームです！！ぜひぜひ南風にめんとれ！

高知学生 旅鯨人

●代表者／坪川 賢郎
●一般募集なし（学生ならオッケー）
●参加費／15,000円 ●出場回数／16回目

- Q1 練習日程は月・水・金で朝倉キャンパスの赤レンガで18時より、夏は県立大体育館（永国寺）や物部キャンパスの体育館で練習予定。自分の行けるときに行きやすい場所練習できます。
- Q2 万華鏡をテーマにした「華鏡（はなかがみ）」旅鯨人の一人一人が万華鏡の中のかげらと例え、輝くことをテーマとしています。無限の輝きを表したいと思い「万」という文字をのけて無限の可能性を持つ「華鏡」と決めました！
- Q3 きれいで鮮やかな衣装や地方車、囃子、音楽など万華鏡をイメージしました。
- Q4 学生時代の思い出となるもの！
- Q5 お気軽にまずは赤レンガに来てください！（月・水・金18時より）

青ノ春

- Q1 社会人、学生が混ざったチーム。練習日程は未定ですが、基本は夜に行きます。
- Q2 ライジングサン
- Q3 現在作成中！お楽しみ！
- Q4 離れた仲間たちと繋がってられる青春の場！
- Q5 まだ決まっていないことが多いですが、何より楽しむことを考えたチームです。僕たちと共に青春しませんか？

若者の野生の本能に火をつけたい! 高知大医学部の情熱先生が、 高知県のアーチェリー普及に一役

高知大教員で現役、高知県代表国体選手である弘田先生。40代になってからも、成績躍進は留まらず、70歳まで高知県代表はゆずれないという強い意志を持ちながら、高知県のアーチェリー普及に努めています。「現在、高知県の高校でアーチェリー部があるのは2校だけ。弓道に比べ、まだまだ競技人口も少ないので、活躍の場はあはずです」と先生は語ります。アーチェリーは、矢矢という武器を使いますが、安全マナーさえしっかりしておけば、全く危険ではなく、また年齢や性別をあまり問わない生涯スポーツです。個人競技なので、独立心の旺盛な高知県人に向いているかもしれませんね。

pick up サークル

お問い合わせ先
Tel.088-844-8150
(高知大学学生支援課)



アーチェリー部

筋力・体力・忍耐力で
勝負する、生涯スポーツ

実際にやってみないと
わからないおもしろさがあります。
的に当たった時は快感ですよ。

部長
元木 雄作さん
Motoki Yusaku
理学部3年生 香川県出身

活動日
水/13:00~18:00
土/13:00~18:00
春野運動公園
アーチェリー場

数十m(競技では30m)最長90mも先の的を狙うアーチェリー。1回の試合につき72射も打ち込む筋力、体力、精神力(忍耐力)を問われるスポーツ。アーチェリーは、性別年齢をあまり問わない経験の差が出やすいスポーツで、若くて体力があるだけでは勝つことのできない、奥の深さが魅力です。現在、現役国体選手の弘田助教を顧問に迎え、チームとして全国大会出場を目指しています。

医学部剣道部

Hand to hand

修士館に高らかに響く剣士の声。

大人も子どもも手を取り、
レクリエーションを通じて楽しく学ぼう。

Hand to hand
大文字は、大人の手。小文字は子供の手を表しています。大人と子どもが手をつないでいる様子が伝わります。

子どもたちだけでなく、
部員同士の仲のよさも自慢です。

創部三十余年。白衣から剣道着に着替えて、心身を磨き上げる剣道部。相手に対する礼儀を重んじ、練習は厳しくとも、部員はみんな仲良し。モットーは「仲良く、楽しく、真剣に」。このメリハリこそが集中力の要。医学部剣道部には、中国四国大会準優勝(個人入賞)する有段者から大学で始めた初心者まで幅広く、それぞれの目標に向かい技を磨いています。



部長
鈴木 智子さん
Suzuki Tomoko
医学部4年生 徳島県出身

活動日
月・水・金/18:00~20:00
土/15:00~18:00
場所/修士館

部長
山中 拓人さん
Yamanaka Takuto
理学部2年生 高知県出身

活動日
部会 月・水/18:00~
主な活動 土/15:30頃~
場所/未定

アジア・僻地医療を 支援する会

現地の人たちと一緒に健康推進のお手伝い

日本や先進国と医療格差のある地域の医療をよりよくするために、地道な活動を展開する約30名のサークル。現在の主な活動は板のようなベッドが並べられただけのブライバシもない状態だったそうです。しかし、高知大学と大学間協定を結びチェンラフ大学の協力の下、医療器具の寄贈や衛生指導を行なっていくうちに、少しずつ快適な環境へ近づいているそうです。



部長
露口 恵理さん
Tsuyuguchi Eri
医学部3年生 大阪府出身

活動日
火曜日/昼休み
または放課後
場所/チュートリアル室他

世界を知ること、自分が恵まれていることがわかりました。10月には、ふれあい市場でイベントをやりますよ! まずは、現地の様子を知ってもらえたら嬉しいです。

Research Activities

研究室活動ページ



ある時は営業マン、ある時はカウンセラー、
高知大学と地域をつなぐ地域コーディネーター



高知大学の知的、
人的パワーで、
高知を元気にする
影の仕掛け人



高知は食料生産と
再生可能エネルギーの
ポテンシャルが高い地域です。
高知県の産業発展の可能性は無限大!

何でもご相談ください。

平成23年度 市町&高知大が タッグを組む挑戦例

現在高知大学は、県内10市町と連携協定を結び、
一緒に地域活性のための挑戦をしています。

- 高知県 高知県産学官連携会議
高知県食品産業研究会
- 高知市 高知市総合調査
- 大豊町 二段階発酵茶「暮石茶」の市場
開拓と事業化拡大戦略の構築
- 黒潮町 「日本カツオ学会」の創設。
- 四万十市 スシアオノリ生産量アップ
(代表:平岡准教授(海洋生物教育研究センター))
スシアオノリ健康増進効果
(代表:受田教授(農学部)・今村講師(医学部))
天然鮎を守る取り組み
(代表:木下教授(海洋生物教育研究センター))
- 香南市 市民参加型による地域ブランド構築。
市民による企画カタログ
「香南まるごと旨市」の発行。
- 室戸市 室戸市健康増進事業
シスレト水中運動プログラム
(代表:石田准教授(医学部))

その他、土佐FBC人材創出事業展開や、
(独)産業技術総合研究所四国セ
ンター、地元金融機関等との連携
に関わっています。

地域が元気になるためには、
そこに住む人が元気でないと始まりません。
あきらめずに情熱を持ち続けることも大切。
みんなで頑張れば、光は必ず
見えてきます。

高知大学国際・地域連携センターのミッション

地域を敬い、人を愛する
「敬・地・愛・人」

高知大学は、人文・教育・理・医・農の学部と黒潮圏海洋科学研究所、附属病院、各種センターから構成され、教職員1450名、学生5700名を抱える総合大学です。南国土佐の自然と風土を学び、未来を展望した智の想像と学位の継承を通して、人類の継続的発展と地域社会へ貢献することを使命としています。

市町村との打ち合わせでは、基本的に担当の方とセンターのメンバーが、地域でどんな問題を抱えているのかをヒアリングし、できることを提案していきます。具体的には、特産品を開発して外貨を稼ごうなど、要望は多岐に渡ります。そして、対応可能な先生にご相談申し上げて、できることをセッティングしていく仕事です。

国際・地域連携センター
産学官民連携部門長 准教授
農学博士 石塚 悟史
Satoshi Ishizuka

●専門分野:産学官民連携/地域再生事業
科学技術振興/環境保全学

出身は岐阜県、海に憧れ、高知大農学部へ入学以来、高知在住で20年。幼少時から、食料問題に関心があったため農学部へ進学。土壌研究や熱帯雨林の再生に関わる。約10年前、産学連携の話が持ち上がり、地域コーディネーターとして活動。

国際・地域連携センター
特任講師
農学博士 吉用 武史
Takeshi Yoshimochi

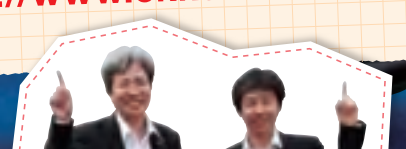
●専門分野:産学官民連携/地域再生事業
科学技術振興/環境保全学

出身は兵庫県、高知大農学部入学後、植物病理学を専攻し学位を取得。その後、科学技術振興機構へ入り、多岐に渡る研究開発やポスティングを学びながら、大学の教授研究費獲得支援や企業とのマッチングに携わる。平成23年4月より、高知大学の特任講師に就任。地域に必要なマッチングに奮闘中。

連絡先

高知大学国際・地域連携センター

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556
http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/A/



オープンキャンパスのお知らせ!



※企画の内容、終了時間は変更となる場合があります。申込方法はホームページをご覧ください。

朝倉キャンパス

8/6(土)
人文学部

10:00～15:00

「人文学部とはこんなところですよ」

入試や学生生活の質問に教員・在学生が対応します。
○学部紹介○入試相談○在学生による相談コーナー
○保護者の方への案内

■学科企画

【人間文化学科】【国際社会コミュニケーション学科】【社会経済学科】
各学科がそれぞれ企画を用意し、皆さんをお待ちしています。
○学科紹介○模擬授業○「こんなことをやっています」(在学生の話)
(詳しくは、人文学部ホームページで案内します。)
<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>

8/6(土)
理学部

10:00～15:00

○学部紹介○学部構成と入試概要○わたしの大学生活(先輩の話)○パネル展示と入試相談コーナー
(附属施設や各コース企画を簡単に紹介します。)
附属施設見学はどこでも自由です。
理学部1・2号館、情報科学棟、地震観測所、水熱化学実験所

■コース別企画と施設見学

【理学科】

数学コース:大学数学を垣間見る○物理科学コース:物理科学への招待
○化学コース:コース紹介と研究室見学ー化学者の仲間入りをしてみようー
○生物科学コース:目で見て触ろう生物科学○地球科学コース:私たちの地球を知ろう

【応用理学科】

○情報科学コース:情報科学への招待○応用化学コース:コース紹介と研究室見学ー化学者の仲間入りをしてみようー○海洋生命・分子工学科:コース紹介と研究室見学○災害科学コース:災害科学への招待

8/7(日)
教育学部

10:00～15:00



○学部説明○平成24年度の入試について
○学校教育教員養成課程、生涯教育課程のコース紹介
○入試相談・生活相談

物部キャンパス

8/7(日)
農学部

10:00～15:00



農学科8コース

暖地農学
海洋生物生産学
食料科学
生命化学
自然環境学
流域環境工学
森林科学
国際支援学

○高知大学農学部の見どころ・学びとは?○役に立つ入試情報
○コース別企画により各コースの魅力に触れる○在学生による大
学生活紹介○パネル展示○キャンパス内施設見学と研究室めぐ
り○入試・相談コーナー(開始前と終了後にそれぞれ1時間開催)

岡豊キャンパス

8/7(日)
医学科

13:00～16:00



○医学科説明○入試情報○模擬授業
○教員・在学生への質問コーナー

8/7(日)
看護学科

10:00～12:30



○看護学科説明○入試情報○カリキュラム説明
○短期留学体験談○教員・在学生への質問コーナー
など



子どもの健康と環境に関する全国調査
高知県の「エコチル調査」参加者600人に!
～参加登録、着々と進行中!～



環境省が主体となって今年1月より始まった「エコチル調査」。環境中の物質の、子どもへの影響を明らかにしようとするこの調査、全国15か所で10万組の親子にご協力いただきます。高知大学は、四国では唯一の拠点として、高知市・南国市・四万十市・梶原町にお住まいの妊婦さんを対象に3年間で5000人の参加をお願いしています。エコチル調査では、普段通りの生活の中で、アンケートに答えていただいたり、妊婦健診の際に少し余分に尿や血液をいただきます。参加者の中には、「環境問題に興味があるの。。。」という方や、「エコチル調査をきっかけに子どもの達の未来について考え始めました!」という方も。。。未来の子ども達のために、引き続き「エコチル調査」へのご協力をお願いします。

お問い合わせ先

エコチル調査コールセンター

☎0120-535-252(9時～21時)

環境省のエコチルHP

www.env.go.jp/chemi/ceh/index.html

高知ユニットセンターHP

<http://kochi-ecochil.jp>

こうちエコチル

検索



TEL.088-880-2173
(土・日・祝日のぞく
午前9時～午後5時)

高知市・南国市・四
万十市・梶原町に
お住まいの妊婦さん!
ぜひご協力をお願い
します!



受験生の皆様へ

平成24年度高知大学新たな入試の導入! 土佐さきがけプログラム

高知大学の教育・研究実績や特色を活かした上で、従来の学部・学科等のカリキュラムから独立した、時代を先駆ける高知大学独自の教育プログラムです。土佐さきがけプログラムでは、関連する様々な分野を横断的かつ総合的に学ぶ独自のカリキュラムが準備されており、幅広い知識[基礎力]や、それらを組み合わせる力[応用力]を身につけ、現代社会が抱える課題の解決に積極的に取り組む社会のリーダー——すなわち幕末の志士・坂本龍馬のように、時代の一步先を進む人材の育成を目指します。

国際人材育成コース

今や世界共通語となった英語、近年ますます重要度が高くなっている中国語及び日本語を駆使し、高い国際コミュニケーション力とともに、文化的・歴史的背景による価値観の違いを乗り越えて自文化と異文化を理解する心を持ち、国際社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。

●出願期間/平成23年8月16日～18日
●入試実施日/ (AO入試)平成23年9月21日、22日

スポーツ人材育成コース

所属する学部・学科等の専門分野の学びとスポーツ活動を両立させ、さらに副専攻としてスポーツを科学的に学ぶことで、卒業後は様々な職業で活躍しながら、職場でのスポーツの活性化やスポーツを通じた地域貢献を行える人材を育成することを目指します。

※このコースは、人文学部・教育学部(生涯教育課程スポーツ科学コースを除く)・理学部の推薦入試Iの合格者の中から選考します。(申請期間11月上旬)

グリーンサイエンス人材育成コース

科学を基礎とし、環境に配慮した技術開発・学際研究(グリーンサイエンス研究)を通じて、国際的に通用する高度な専門知識や技術を身につけた、環境問題や資源問題などの解決に貢献できる人材を育成することを目指します。学部で4年間学んだ後は2年間の大学院修士課程へ進学することを前提とした6年一貫のコースです。

●出願期間/平成24年1月中旬
●入試実施日/ (推薦入試II)平成24年2月上旬

お問い合わせ先 高知大学 学務部入試課

URL <http://www.kochi-u.ac.jp/nyusi/index.html> E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp
〒780-8520 高知市曙町二丁目5番1号 TEL.088-844-8153 FAX.088-844-8147

高知大学オリジナル煎餅や
文房具を生協にて
好評販売中!!



国立科学博物館企画展

「宝石サンゴ展～深海からのおくりもの～」閉幕



国立科学博物館と高知大学が共催で開催された企画展「宝石サンゴ展」は、東日本大震災による開幕延期(4月1日から)により開催期間が短縮となりましたが、11万437人もの方々に来場いただき、5月29日(日)に好評のうちに閉幕しました。

企画展では、国立科学博物館地球館の特別展示場(約1,200㎡)に県内を始め、国内外からサンゴの原木やサンゴ産業の歴史的な道具・絵画・宝飾品など、約600点に及ぶ貴重な資料が展示され、自然史と文化史の観点から総合的に解説されるとともに、宝石サンゴの魅力が紹介されました。

高知大学ラジオ公開講座読本

「リベラシオン」書店・生協で好評発売中



大学教員の研究を紹介するRKCラジオ講座。4年間の放送内容をまとめた創刊本です。図説や写真なども盛り込んだ大変読みやすい完全保存版です。

人文 理学
農学・農学部
医療・保健 各800円

お問い合わせ先 高知大学生協/TEL.088-840-1661 FAX.088-840-6678
中島出版印刷/TEL.088-831-8833

放送の終わった講義を下記のホームページで配信していますので、是非お聴きください。
<http://www.kochi-u.ac.jp/~wwwlife/radio/index.html>



<http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

高知大学に関する地域の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。

お問い合わせ先

高知大学広報戦略室(〒780-8520高知市曙町2-5-1)

Tel.088-844-8643 Fax.088-844-8033 E-mail: kh13@kochi-u.ac.jp